

想いをかたちに 今町小学校改築検討会ニュース

発行：見附市教育委員会 教育総務課
 電話：0258(62)1700 内線411
 Email:ky-soumu@city.mitsuke.niigata.jp

富山県の先進校を視察



今町小学校改築検討会では、今町小学校改築に向けたアイデアや様々な情報を収集するため、11月9日(木)に富山県内の先進校を視察してきました。



視察した学校は、砺波市立出町小学校と黒部市立宇奈月小学校の2校。

両校ともに学校建築に際して共通している点は、地域住民と行政が一体となった作業、愛着のある学校、優しさに配慮された学校を目指したこと。そしてプロポーザル方式による設計者の選定手法を行った点でした。また、当市今小改築検討会同様に、両校とも様々な分野から、学校建築に携わっていただけよう検討組織を立ち上げていることが特色と言えます。

砺波市立出町小学校

建築概要
 所在地 砺波市深江567番地
 施主 砺波市
 規模 地上3階、
 敷地面積 24,000平方メートル
 校舎 6,373平方メートル
 開校2002年4月



黒部市立宇奈月小学校

建築概要
 所在地 黒部市宇奈月町浦山205番地
 施主 黒部市
 規模 地上2階、
 敷地面積 29,384平方メートル
 校舎 6,064平方メートル
 開校2006年4月



安全とふれあえる環境づくり
 地域開放への配慮
 環境に配慮したエコスクール

詳細は市教委ホームページに掲載



出町小学校では、記憶に残る学校づくりの視点から、子ども達の手によるランチルームの壁塗りやトイレのデザイン(壁面タイル)等、子ども達の工事作業工程への積極的な参加が見受けられました。

宇奈月小学校は、市町村合併による学校統合を目指し、次のようなコンセプトにより学校建築を行いました。
 新しい教育に対応できる高機能で有機的な学習・生活空間の実現

想いをかたちに 今町小学校改築検討会ニュース

発行：見附市教育委員会 教育総務課
 電話：0258 (62) 1700 内線411
 Email:ky-soumu@city.mitsuke.niigata.jp

想いをかたちにアンケート

今町小学校改築に向け、検討素材のひとつとしてアンケート調査を実施することになりました。

アンケートは、今町小学校児童、保護者、地域の方々は勿論のこと、市民の皆様からは、教育委員会ホームページ上でオンライン回答いただくことが可能です。みなさんの学校改築に向けての「熱い想い」を是非ともお聞かせいただきたいと思っております。なお、アンケート項目は次のとおりです。

想いをかたちにアンケート

今小新校舎建設にあたり、子ども達に用意してあげたい施設環境として「特に望むもの」を上位3位をお選びください。

くつろげる中庭・前庭
 エアコン
 広いグラウンド
 明るくて広いトイレ
 ゆとりのある更衣室
 過ごしやすい学級教室
 楽しく食事のできるランチルーム

教科ごとの特色ある特別教室
 広く充実した図書館
 広く天井の高い体育館
 自由に使えるコンピュータ教室
 清潔な手洗い・水のみ場
 全校児童が集まれるホール

今町小学校建築の課題として「特に関心のあるもの」を上位3位をお選びください。

うるおいのある生活の場
 子どもが主体的に学べる教育環境の充実
 児童・教師のための様々な居場所づくり
 将来の変化に対応する長寿命な学校
 情報設備・環境の充実
 侵入や災害に対して安全・安心な学校
 生涯学習や地域住民の活動の場となる複合・連携
 誰にもやさしいバリアフリーな環境
 地域のシンボルとなる学校
 地球環境にやさしいエコスクール

新校舎計画にあたって、今後も残し

しょうか？

新校舎計画にあたって、期待することや、その進め方等についてお聞かせください。

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

オンラインアンケートは、インターネットで次のアドレスを入力して回答いただくことができます。

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/mt/enq/enq.cgi>?



第2回今小改築検討会開催



12月4日(月)午後7時から第2回今小改築検討会が開催されました。



このたびの検討会では、個別テーマを「子ども達の生活の場としての学校」とし、1日のほぼ1/3を集団生活ですぐ子ども達の生活の場をイメージし、ワークショップ方式により各自の想いをポストイットに記入、ホワイトボードに貼り付ける作業を行い、閉会時間を大幅に超過しながらも様々なアイデアが発表されました。

長澤教授のコメントより

【見附市は学校建築にあたり、その素地ができていますね】

市内の学校を見せてもらったが、見附市は他市に比較して学校を大切にしている様子がうかがえました。外観ひとつを見ても十分な理解が得られていることがわかります。

名木野小学校のように併設のサービスセンターや隣接する養護学校との交流を通した福祉・人権～思いやりの心を育てる教育は、全国でも最新事例に値しますね。

見附市の人口規模で市立養護学校を既に設置していることは、教育に対する関心度の高さが自ずとかがえす。



次回検討会は、検討テーマを「地域住民の交流の場としての学校」とし、12月18日に開催を予定しております。